

2026年度 新潟県クラブユースサッカー(U-14)新人大会
兼 2027年度 新潟県クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 予選会
大会規定

1. 競技規則 2025/2026年(公財)日本サッカー協会『サッカー競技規則』による
チームには、フィールド上に（キャプテンとして）識別できるアームバンドを着用したキャプテンがいなければならない。
2. 競技方法 (1) 組合せ 2025年度新潟県クラブユースサッカー(U-13)大会の結果を基に大会実施委員が決定及び抽選を行う。
 - ① 2025年度新潟県クラブユースサッカーU13大会の上位8チームは決勝トーナメントより進出とする。
 - ② 2025年度新潟県クラブユースサッカーU13大会の9位以降の順位を基に予選Lを振り分ける。
 - ③ 2025年度新潟県クラブユースサッカーU13大会に参加していないチームは抽選を行う。(2) 予選リーグ
 - ① (1)の①を除く参加希望チームをa～hの8グループに分けリーグ戦を行う。
 - ② 試合時間は50分（25分-5分-25分）で行う。
 - ③ 勝ち点制とし、勝ち点は以下の通りとする。
勝ち＝3点、引分け＝1点、負け＝0点
勝ち点が同一の場合、（i）当該チーム内の対戦成績（ii）当該チーム内の得失点差（iii）当該チーム内の総得点（iv）グループ内の総得失点差（v）グループ内の総得点（vi）抽選 の順で順位を決定する。
 - ④ 予選リーグ1位は決勝トーナメントへ進出する。
予選リーグ2位から5位チームは順位トーナメントへ進出する。(3) 決勝トーナメント
 - ① 予選リーグ1位と2025年度第14回新潟県クラブユースサッカー（U13）大会上位8チームの計16チームで決勝トーナメントを行う。
 - ② 試合時間は50分（25分-5分-25分）で行う。
 - ③ 試合時間内に勝敗が決定しない場合は、PK戦方式により勝敗を決定する。(4) 順位トーナメント（17位24位T・25位32位T・33位41位トーナメント）
 - ① (2)①の予選リーグ2位8チームで順位トーナメントを行う。
 - ② (2)①の予選リーグ3位8チームで順位トーナメントを行う。
 - ③ (2)①の予選リーグ4位および5位9チームで順位トーナメントを行う。
 - ④ 試合時間は50分（25分-5分-25分）で行う。
 - ⑤ 試合時間内に勝敗が決定しない場合は、PK戦方式により勝敗を決定する。

※4位5位トーナメントについて
各グループ4位チームの順位トーナメント進出順位は、以下の順序により決定する。

 - ① グループ内での勝点合計
 - ② グループ内での得失点差
 - ③ グループ内での総得点数
 - ④ ①～③の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。
3. 試合前・試合中のウォーミングアップ (1) 試合前のウォーミングアップは各会場の指定された場所及び方法で行う。
(2) ピッチ内アップ
 - ① 試合開始前のピッチ内アップが可能な場合はボールを使って行う。
 - ② ハーフタイムのピッチ内アップは、原則として次に試合のチームが行うことができる。
 - ③ 試合中のアップについては、ベンチ脇で行うこと。この時、ボールの使用は厳禁とする。
4. 代表者会議 (1) 原則として、各会場第1試合開始60分前に当該出場チームの代表各1名によるミーティングを行う。

- (2) 代表者会議では、試合日程及び審判割りの確認、各会場の利用方法と最後にユニフォームチェックを行い、スムーズな競技運営に各チームで協力をお願い致します。

5. 選手交代 (1) 当日ベンチ入りした14名までとし、再出場は認めない。また、試合を通しての交代回数は3回までとする。但しハーフタイムは含めない

(2) 交代用紙は使用する。

- (3) 各試合のメンバー表提出後、試合開始前までの時間に怪我などの特別な理由により、その試合に登録された選手が出場出来ないと当該会場本部役員が判断した場合に限り、下記の通りメンバーの変更を認める。

- ① 先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たに控え選手に登録済みの選手の中から補充することが出来る。ただし、出場出来ない当該選手がベンチに留まりたい場合は、当該試合に出場しないことを条件にベンチにとどめることが出来るが、この場合は控え選手の補充は出来ない。
- ② 控え選手の場合は、登録済み選手の中から控え選手として新たに補充することが出来る。この場合も怪我等で出場出来ない当該選手がベンチに留まりたい場合は、当該試合に出場しないことを条件にベンチにとどめることが出来るが、この場合は控え選手の補充は出来ない。
- ③ 選手の補充を行った場合、怪我等で出場出来ない当該選手はベンチ内へ入ることは出来ない。
- ④ この選手の補充については、選手の交代にはあたらない。
- ⑤ この措置は、本大会のみの適応とする。

(4) ※【脳震盪】

原則：1 試合において各チームは最大1人の「脳振盪による交代」ができる。たとえ、味方同士の間で頭部の接触があり、2人に脳振盪もしくはその疑いがあると判断されても、「脳振盪による交代」は「1人のみ」に適用される。

② 交代の回数：チームが「脳振盪の交代」を行った場合、相手チームは1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。この追加の交代回数は、「追加の交代要員」のためにのみ使うことができ、「通常の交代要員」には使うことができない。

・相手チームの「脳振盪による交代」の使用により、「1人の追加の交代要員」とともに得られた「1回の追加の交代回数」は、「1人の追加の交代要員」のためにのみ使うことができる。

・たとえ、まだ使っていない交代要員（通常の交代要員）を残していたとしても、得られた「1回の追加の交代」の機会として、これらの交代要員を「1人の追加の交代要員」と同時に交代させることはできない。

・脳震盪での交代は回数にカウントされない。ただし、通常交代と同時に行う場合はカウントされる。また、交代要員「が残っている場合は交代要員から脳震盪の選手と交代をする。ただし、交代要員を全て使った場合のみ再出場を認める。

6. 警告・退場

- (1) 大会期間中、警告の累積が2枚になった選手は次の1試合に出場出来ない。また、退場を命じられた選手等は次の1試合に出場出来ない。

- (2) 警告の累積は、予選リーグ終了後にクリアする。

- (3) ① 退場処分を受けた選手等は次の1試合に出場できない。その後の措置については、本大会実施委員会において処分を決定する。また、退場になってその処分を本大会で消化できない場合で、北信越新人大会及び北信越新人フェスティバルに出場する場合は、その大会の第1試合で消化すること。なお、北信越大会へ出場できない場合は、大会実施委員会の処分に従う。

- ② 本大会における累積警告は、本大会が終了するとともに消滅する。

- (4) スタッフに退場処分が出され、特定ができなければ、優先順位が高い者から退場となる。

- (5) 退場を命じられた選手等は、会場役員の指示に従い所定の場所へ移動すること。

- (6) 退場処分等を出した当該の審判員は「審判報告書」並びに「審判報告書（重要事項）」を当該ピッチの本部に提出すること。なお、その書面をもって、当該選手等の事情聴取を行います。

退場及び退席を受けた選手等は、各会場の指定の場所で事情聴取を行います。試合終了後、会場大会本部にて待機して下さい。審判報告書の提出を待つて事情聴取を開始します。主審も事情聴取に同席する。

(7) 【試合の不成立】

ベンチ入りのスタッフが退場等によりなくなった場合、その時点で没収試合とする。スコアは(0-3) ※ただし、3点差以上離れている場合は、この限りではない。

(8) その他詳細は、(公財) 日本サッカー協会「懲罰規定」に則る。

7. 審判

(1) 審判員は、チーム帯同審判員とし必ず審判証を携帯し、大会役員の求めに応じ提示ができること。

(2) 審判員は、審判着、審判員ワッペンの着用を必須とする。

(3) 審判員は高校生以上とする。主審は18歳以上が望ましい。

8. メンバー表

(1) エントリー後のメンバー変更(入力ミスによる訂正も含む)は、本大会出場初日の代表者会議時に変更したエントリー表を1部提出のこと。このとき、背番号のみの変更は認めない。

(2) メンバー表は、各会場共に当該試合開始30分前までに各ピッチの本部へ先発選手、交代要員、ユニフォーム、ベンチ入り役員に印を付け提出すること。大会を通じて2部提出すること。

(3) 選手証については、競技役員の求めに応じ提示できるようにしておくこと。

(4) メンバー表に不備があった場合は、大会実施委員によって協議し裁定を行う。

9. 選手

チェック

(1) 試合開始5分前に選手チェック、用具チェックを指定された場所で行う。

(2) 選手の装具などについては、主審の判断とする。

10. ユニフォーム

(1) ユニフォームは、(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定を遵守すること。

(2) 正・副の色の異なるユニフォーム(GKも含む)を用意すること。通常審判員が着用する審判着(黒色等)に類似しているユニフォームは認めない。

(3) ユニフォームの前面及び背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付けること(GKも含む)。

(4) 背番号の張り番については、前面及び背面とも四辺をしっかりと縫い付け試合中に取れることのないようにすること。また、台座の生地は、出来るだけユニフォームの主たる色と同色にし、かつ、番号がはっきりと読み取れるものであること。

(5) ユニフォームの色及び選手番号は大会登録後の原則変更は認めない。

(6) 日本サッカー協会から示された「ユニフォーム規定」の運用緩和に関しては、以下の点を認めるものとする。

・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色やデザインが同様と主審が判断すれば着用することができる。

・ユニフォームの下に着用するアンダーシャツ、ショーツおよびタイツ色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。(一部未着用の者が含まれる場合も可とする)

・ソックスは足首部分で切れたもので、足首から下は別のものを着用する形式のものを着用できる。※カットソックスを着用する場合は、同色とする。

11. ベンチ

(1) ベンチへの入場は、メンバー表に印を付けた選手最大25名(交代要員を含む)と役員5名以内とする。

(2) リーグ戦においては、リーグ表上段のチームが左側ベンチ、対戦相手が右側ベンチを使用すること。また、トーナメント戦においては、トーナメント表左及び上段のチームが左側ベンチ、対戦相手が右側ベンチを使用すること。

(3) 試合中に役員は、ベンチから離れることはできない。

12. ベンチ内での態度

(1) 試合中その都度ただ一人の役員のみがテクニカルエリアに出て競技者に戦術的指示を伝えることが出来る。

(2) ベンチ内での発言において、審判員・選手・競技役員等に対し誹謗中傷及び暴言・差別発言等は厳に慎むこと。これを行ったチーム役員・選手等に対しては厳重な処分を下します。

(3) 控えの選手及びチーム役員は、ピッチ内で試合をしている選手及び審判員と明らかに異なる色のピブス等を着用していること。

(4) ビデオ撮影・写真撮影については会場責任者の指示に従う。

- (5) ベンチを含む競技場内におけるチーム役員同士の無線通信は認められる。ただし、監督を含む役員や選手が出場停止または退場、退席処分を受けた場合においては、それは出来ない。また、試合の画像をベンチ内で見ることの出来る通信機器及び端末（PCも含む）の使用は認められない。

13. 試合球 試合球は、大会実施委員会にて準備する。

14. 暑熱対策 ※熱中症ガイドラインを参考に試合の有無の判断をお願いいたします。

15. 会場設営 (1) 各会場の設営は、第1試合の2チームで行う。

(2) 各会場の撤収は、最終試合の2チームで行う。

16. その他 (1) 運営については、大会実施委員会に一任する。

(2) 参加資格等の違反、不都合な行為等があった場合の措置については大会実施委員会で裁定する。

(3) 大会期間中において、不慮の事故等が生じた場合は、各チームにおいて対応すること。

(4) 本大会において、要項・規定以外の予期せぬ事象に対しては、大会実行委員で最終判断をしますが、早急な判断が必要な場合は、参加各チームの良識ある対応をお願いします。その場合、必ず実施委員会に顛末の報告をお願いします。

(5) 天候等の事情により試合が日程通り消化出来ない状況が発生した場合は、大会実施委員会に一任する。

(6) 反スポーツ的（特に暴言・暴力・差別発言等）と判断される行為は相手チームのみならず自チーム間であっても厳に慎み、サッカーの品位を高めるよう努力を図ること。

(7) 試合中の選手や観客を含め会場による緊急事態（救急搬送等）の対応は本部役員で行うが、それ以降の処置は各チームで責任を持って対応を行って下さい。

(8) 本要項及び注意事項に記載の無い事項については（公財）日本サッカー協会発行「サッカー競技規則2025/2026」による。

(9) 選手のソックスとすね当ての装着に関して

育成年代・成長期の選手であり、ケガ予防の観点から、明らかにソックスが下がっている状態での試合出場は不可とし、膝下までほぼ全てが覆われている状況となるよう、チームスタッフが指導するようにお願いします。

【大会実施委員長】

新潟県クラブユースサッカー連盟 代表理事 浅見達也（090-4069-1799）

Mail : nicy.asami@gmail.com

【大会実施委員会】

新潟県クラブユースサッカー連盟理事が兼ねる